ゆっくら みなひをあ

第八十六号

リレーメッセージ

主人と結婚して５０年がきました。ショートケーキを食べて、ささやかな金婚式を祝いました。山あり谷あり、また山あり谷ありの５０年でした。

野球好きの主人は野球が始まると私がドラマとか見ていようとお構いなしにチャンネルを野球に切り換え観戦です。そんな主人にいつの間にか付き合って野球を観るようになり、選手の名前やルールなども自然と覚えていきました。

また退職後は二人で農業をしていこうと思っていましたが、平成２０年８月５日早朝、脳出血で倒れ私達の生活は一変しました。救急車を頼み緊急入院、先生から「今頭に水が溜まっているからすぐ抜かないと植物人間になります。」と言われ即手術をしてもらいましたが意識不明になりＩＣＵで二週間くらい意識は戻らずに毎日声かけに行きました。１０分の面会時間はとっくに過ぎていましたが看護師さんが許してくださいました。意識はなくても声は聞こえていると教えてもらった事があったのでそれを信じて続けました。やっと「意識が戻った。」と聞いたときはとても嬉しかったです。ＩＣＵから一般病棟へ、しかし、何回か病室は変わりましたがナースステーションの隣か前となり緊急事態の時はすぐこられ治療をしてもらいました。外科に変わったときは窓がありナースステーションから直に様子がみられる部屋でした。

平成２０年９月２２日リハビリができるようになり、寺岡記念病院へ転院。そこでは午前午後リハビリがあり、嫌がることなく時には一緒にリハビリを受けました。気管切開して人工呼吸器をつけていたので声が出ないので少しの間筆談で話をしました。その間、言葉まで忘れたらどうしようと考えてしまいました。が、ちゃんと忘れずにいてくれました。平成２１年１月３０日退院が決まり、一週間は家で過ごし、ふぁみりいさんにお世話になることになり、要介護５で退院し、でも半年くらいで要介護４になり、スタッフのみなさんのおかげで元気になり、その後要介護３の状態が続いています。

たまには好きだった野球を新幹線に乗って広島まで行きマツダスタジアムまで車椅子を押して観戦に行きました。二人では不安なので姉や義妹の主人にお願いして一緒に観戦しました。主人は楽しんでいました。初めて生で選手を観ました。初回は雨で中止。お土産を買って帰り、後に３～４回観戦しました。

それから胸と胆のうの手術、胆のうの時は事情で尾道農協病院での手術になり私が通うのが大変でした。片道９０分かかりました。毎日通いました。

ふぁみりいさんに通うようになり、無口だった主人も職員さん達とよく話しているみたいで帰ってくると「ありゃぁなあ、今日おもれえことがあったんよ。」
「ふ～ん、何があったん。」「それから、どうしちゃったん。」とその日デイであった事を話してくれます。私の楽しみのひとつです。主人の様子が少しわかる気がするからです。

私のモットーは、明るく笑う時は声を出して笑うこと。今は家では用心のため車イスで移動し、日常生活のすべてに介助が必要ですが、何とか出来ています。私の実母は９７歳になりますが、パズルをしたり折り紙をしたりして、自分の事は出来ています。私もそうなりたいし出来るだけ主人と共に生きたいです。

ふぁみりいのスタッフの皆様、お世話になりだして１７年目になりますがこれからもよろしくお願いします。

（三原秀夫様　陽子様）

こころの小箱

インフルエンザ、コロナ感染症の流行も過ぎ去り、ここ福山は過ごしやすい季節となりました。

私、石田 浩と申します。ふぁみりいでは主に医療面のサポートをしています。出身は三次市吉舎町ですが鹿児島の大学へ進学していた関係で２０年間鹿児島にいました。いろいろな縁を経てここふぁみりいに赴任してきたのが４０歳になる時でした。気が付けばもう２２年が経過しようとしています。当時ふぁみりいの周りはほぼ田んぼだったのですが現在はずいぶん様変わりし年月の経過をあらためて感じています。カエルの大合唱も当時の懐かしい思い出です。

『笑う門には福来る』

私はこの言葉が大好きです。世の中には嫌なことやうまくいかないことがたくさんあります。そんな時こそ笑顔でいれば自分自身も自分の周りの人達も気持ちが穏やかになります。そうすれば助けてくれる人もきっと現われるでしょう。全てがいい方向へ進む可能性が膨らみます。もちろん健康にもいいはずです。前向きな気持ちにもなれます。皆さんも一日１回は声を出して笑いましょう。笑顔の絶えない施設ふぁみりいになれるよう一生懸命がんばっていきます。これからもよろしくお願いします。

（総施設長：医師 石田 浩）

広報誌を依頼され、改めて考えるとこれといった趣味がないと感じていました。そこで子どもたちに聞いてみたところ、「ガーデニングじゃない？」と答えが返ってきました。

言われてみれば、確かにそうかもしれません。花を眺めたり、庭に花や野菜の苗を植えたりする時間は、私にとって安らぎを与えてくれるものです。花が咲き、野菜が育っていく様子を見るのは喜びでもあり、日々の生活での癒しとなっています。買い物に出かけた際も、「今は、どんな花が咲いているのだろう」と、自然とお花コーナーについ立ち寄ってしまうのは、やはり植物を育てることがすきなのだと感じます。

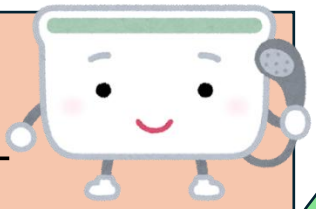
ガーデニングを始めたきっかけは、家を建てた際に庭に何もないのは、少し寂しく感じたことでした。それが今では、少しずつ植物が増え、庭に彩りが加わってきました。これからも、植物たちの成長を楽しみながら、気候の良い時にはのんびり庭でバーベキューをしたりして、この時間を大切にしていきたいと思います。

（事務職員：吉川友美）

おしらせ

お風呂に新しい機械が入りました。

シャワーポッド
araeru(アラエル)です



このアラエルは内部に22基のシャワーノズルを搭載し、隅々までしっかりシャワーが届き、ウルトラファインバブルシャワーがシワや毛穴の奥まで入り込み、汚れを落とします。また、お肌の潤いを保つ効果もあります。
また、シャワードームの気密性とウルトラファインバブルの超微細な気泡により、体の芯まで温め入浴後もポカポカが持続します。
（HP より抜粋）

ちなみに…

ウルトラファインバブルの泡の大きさは直径が 1μm(マイクロメートル)。
なんと 1000 分の 1 ㎜という細やかな泡だそうです。

＜編集後記＞

最近、暑くてジメジメした日が続いています。
こういう時には体調を崩しやすいので皆さまも、しっかりと水分補給や睡眠時間をしっかりと確保して元気に過ごしていきましょう。
（芝内　雅邦）

＜ゆっくらみなひゃあ　第86号＞
題字：井元　幸枝 様

何年か振りに習字をしました。
上手く書けていますか？

発行：令和7年7月
発行者：〒720-2104
福山市神辺町道上2977-1
(TEL)084-960-0300
(FAX)084-960-0301

ホームページは
コチラから→

(医)緑陽会　介護老人保健施設
ふぁみりい